

再評価結果（令和5年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・技術課
担当課長名：長谷川 朋弘

事業名	津軽自動車道 青森～鰺ヶ沢 (一般国道101号 柏浮田道路)		事業区分	一般国道	事業主体	国道交通省 東北地方整備局
起終点	白：青森県つがる市柏稲盛 至：青森県つがる市木造越水			延長	12.3Km	
事業概要						
柏浮田道路は、一般国道101号において青森県つがる市柏稲盛から同市木造越水に至る延長12.3kmの自動車専用道路である。(津軽自動車道は、青森県青森市から青森県鰺ヶ沢町に至る延長約38kmの高規格道路であり、これまでに約23kmが供用している)						
H30年度事業化		H29年度都市計画決定		R2年度用地着手		R3年度工事着手
全体事業費		約380億円		事業進捗率		約4%
				(令和4年3月末時点)		供用済延長 -km
計画交通量		7,400台/日				
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体)	総費用 (残事業)/(事業全体)		総便益 (残事業)/(事業全体)		基準年 令和4年
	(残事業)	354/1,880億円 事業費：293/1,574億円 維持管理費：61/291億円 更新費：/15億円		376/3,008億円 走行時間短縮便益：286/2,386億円 走行経費減少便益：68/447億円 交通事故減少便益：22/174億円		
感度分析の結果						
【事業全体】交通量変動：B/C 1.6～1.9(交通量 ±10%) 【残事業】 B/C 1.04～1.2(交通量 ±10%) 事業費変動：B/C 1.6～1.6(事業費 ±10%) B/C 0.98～1.2(事業費 ±10%) 事業期間変動：B/C 1.6～1.6(事業期間 ±20%) B/C 0.98～1.1(事業期間 ±20%)						
事業の効果等						
① 円滑なモビリティの確保 ・渋滞損失時間：30.5万人・時間/年、渋滞損失削減率：約8割削減						
② 安全で安心できるくらしの確保 ・三次医療施設へのアクセスが向上						
③ 災害への備え ・青森県緊急輸送道路ネットワーク計画において、国道101号が「第一次緊急輸送道路」に指定 ・当該道路並行現道区間の冬期交通障害区間を解消						
他9項目に該当						
関係する地方公共団体等の意見						
○青森県知事の意見 令和4年8月17日付け国東整企画第71号で意見照会のあったことについて、対応方針(原案)のとおり事業継続に異存はありません。 本県においては、いまだ未整備区間が多く残り、柏浮田道路を含む津軽自動車道は、東北縦貫自動車道と共に、産業の発展や観光の振興に大きく寄与するとともに、災害時における代替機能を有する重要な路線であり、本県が目指す「選ばれる青森」の実現に必要な社会基盤であります。 また、国が掲げる「地方創生」や「国土強靱化」を推し進めるためには、高規格幹線道路網の整備が不可欠であることから、今後も着実に整備を進め、早期供用が図られるよう特段の御配慮をお願いします。 ○以下の団体等から、「柏浮田道路」整備促進について要望あり。 ・青森県						
事業評価監視委員会の意見						
・対応方針(原案)の事業継続は妥当である。						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等						
・この事業の目的が失われるような道路交通状況の変化及び関連プロジェクト等の変更はない。						

事業の進捗状況、残事業の内容等

・平成30年度新規事業化、用地進捗率約7%、事業進捗率約4%（令和4年3月末時点）

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

・事業の進捗に係る問題はない。

施設の構造や工法の変更等

・機能補償のボックスカルバートを集約し、コスト縮減を図っている。

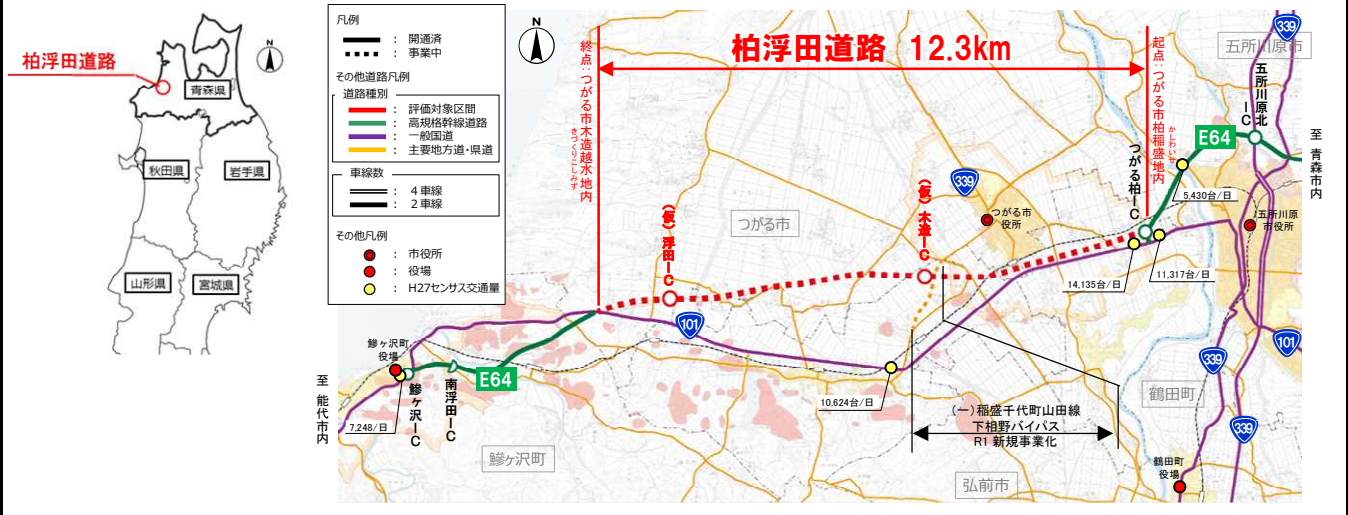
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

冬期交通環境の改善、周遊観光を支援、地域産業を活性化、救急搬送の速達性の向上等のため、早期整備の必要性が高い。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。